

記者発表 (記者発表・資料配布)			
発表年月日	令和4年 3月18日 (金)	担当地方機関	(公財) 兵庫丹波の森協会
電話番号・内線	0795-73-0933 (直通)	担当課	協会事務局企画調査課
発表者	事務局長 大垣 至康	事務担当者	岸本 美鈴
解禁日時	○無○ ・ 有 ( 月 日 時解禁)		
同時発表先	○無○ ・ 有 ( )		
特記事項			

## 令和4年度 丹波の森大学 受講生募集について

昭和63年に豊かな自然と文化を活かした丹波の地域づくりの指針である「丹波の森宣言」が採択され、これを受けて平成元年には、人と自然と文化が調和した地域づくりを目指す「丹波の森構想」が策定されました。

そして、宣言の採択から30周年を迎えた平成30年には、宣言の理念をしっかりと受け継ぎながら、社会環境やライフスタイルの変化をふまえた新しい丹波の地域づくりが始まりました。

丹波の森大学は、丹波の森構想を実現するための講座として平成3年に開設し、新しい時代の中で、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そして、それを支える「もりびと」づくりのためのより深い学習と実践の場として、多彩な講師陣による講義と現地学習をまじえた講座を展開しています。

つきましては、下記のとおり受講生を募集します。

### 記

- 1 期 間 令和4年5月21日(土)～令和5年1月14日(土) 全9回
- 2 開催場所 丹波の森公苑又は丹波篠山市民センター
- 3 講義内容 学習の基本テーマ「森の恵み」  
丹波の森は、私たちにさまざまな恵みをもたらしてくれます。多様な動植物と豊かな生態系、水と緑が織りなす美しい風景、そしてくらしと産業を支える農産物や森林資源。その恵みのもとで、私たちは太古の昔から独自の生活文化を育んできました。  
今、人口減少や産業構造の転換、自然災害やパンデミック、さらには地球レベルでの気候変動などが、丹波の暮らしを大きく変えつつあります。  
今一度丹波の森の恵みを見直し、それを保全・活用することで、持続可能で魅力あふれる丹波づくりをめざします。
- 4 定 員 60名(先着順)
- 5 受講料 8,000円 ※学生は無料
- 6 申込方法 受講生募集パンフレット挟み込みの申込書を、下記の事務局まで持参いただくか、郵送またはFAXでお申込みください。
- 7 申込期間 令和4年3月20日(日)～5月14日(土)
- 8 申込み・問合せ先 (公財)兵庫丹波の森協会 講座「丹波の森大学」事務局  
TEL:0795-73-0933 FAX:0795-72-5164
- 9 その他
  - ・パンフレット設置場所  
丹波の森公苑、丹波年輪の里、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園、丹波篠山市役所・各支所、丹波市役所・各支所、丹波篠山市民センター、丹波市各住民センターほか
  - ・(公財)兵庫丹波の森協会、丹波の森公苑のホームページに掲載